

第2回探Qスキル勉強会が行われました

7月15日(祝・月)、第2回探Qスキル勉強会が行われました。

今回のスキルは、『問いを立てる』です。『問い』が大切だとは聞きますが、どのような『問い』、『問いかけ』が効果的なのか、演習を通して探ります。



私の探Qマイストーリー 話題提供

教育委員会教育政策課 小谷和之



始めに、話題提供者の小谷さん(教育委員会教育政策課参事)から、『私の探Qマイストーリー』と題しまして、小谷さんのマイストーリーをお話頂きました。小谷さんのお話を聞きながら、「小谷さんを突き動かしたものは何だろう?」「小谷さんはその時どんなことを感じていたのだろうか?」と引き込まれていきながら、「もっと知りたい」「心の奥をのぞきたい」という気持ちに駆られます。

グループワークでは、話題提供者の思いをもっと引き出すためには、どのような問いかけをするか、作戦を練ります。メンバーが考えた多くの質問の中から、厳選した『問い』を各グループから投げかけます。

ひとつひとつの問いに丁寧に、自分と向き合いながら答えていく。それを繰り返すうちに、問われた人も、問いかけた人も思いが深まっていく。『問い』のやりとりを通して、相手の見方・考え方を見つめる。そんな温かいやりとりの中で、「では、自分はどうなのだろうか?」と、いつの間にか自分の思いにも向き合っていることに気がつきました。

勉強会の帰り道、参加者の先生方と心がつながったような充足感の中で、私はこれまで、どれだけ生徒の心と向き合う『問い』のやりとりをすることができていただろうか、と様々な生徒たちの顔を思い浮かべながら、また明日から頑張ろうと思いました。

(参加者レポート)

